

IR説明会資料

2016年3月期第2四半期決算

株式会社 極 洋 (証券コード: 1301)

<http://www.kyokuyo.co.jp>

食卓に、海のおいしさと、おどろきと。



<http://www.seamarche.jp>



目次



2016年3月期 第2四半期の概要

- ・トピックス 3～ 4ページ
- ・第2四半期決算概要 5～17ページ

2016年3月期 業績予想及び下半期施策

- ・2016年3月期 下半期業績予想 19～21ページ
- ・事業セグメント別の業績予想と施策 22～24ページ
- ・設備投資計画 25ページ



2016年3月期 第2四半期の概要

□「バリューアップ・キョクヨー2018」をスタート【4月】

魚に強い総合食品会社として、
収益基盤の安定と変化への対応力を高め、
新たな価値を創造する企業を目指す

東京五輪開催年度となる2021年3月期に向けた中間地点と位置付け、
『グローバル戦略』、『シナジー戦略』を更に進化させるとともに、お客様
目線を意識した付加価値商品を提供するため、新たに『差別化戦略』を
加え、目標達成に向けて取り組んでまいります。



トピックス



□ Kyokuyo America Corporation の ロサンゼルス営業所を開設 【5月】

- ▶ ロサンゼルスは北米最大のアジア系人口を抱え、日系水産問屋も多い都市
- ▶ 当社が得意とするきめ細かい顧客対応で海外での販売拡大を目指します
 - ・ 所在地 : 21151 S. Western Ave, #259 Torrance, CA 90501 U.S.A.
 - ・ 人 員 : 日本人駐在員1名

□ コーポレートサイトを全面リニューアル 【6月】

- ▶ 一般消費者、株主、投資家の皆様やお取引先様、就職活動中の方々に向けて、情報を充実させ、見やすく操作性を向上させたものに全面的に刷新いたしました

□ 指宿食品(株) を設立 【7月】

- ▶ カツオタタキなど冷凍カツオマグロを中心とする水産物加工品を製造
- ▶ 水揚げ量増加傾向にある九州地区で製品製造を行い西日本の販売を拡大
 - ・ 所在地 : 鹿児島県指宿市山川新栄町1番地42
 - ・ 資本金 : 50百万円
 - ・ 売上計画 : 2017年3月期8億円



第2四半期決算概要



1. 連結損益計算書

(単位:百万円)

	実績		前年同期比		当初予想	当初予想比	
	第2四半期連結累計期間		(増減金額)	(増減比率)	第2四半期 連結累計期間	(増減金額)	(増減比率)
	2015年3月期 (前期)	2016年3月期 (当期)			2016年3月期 (当期)		
売上高	102,476	108,499	6,023	5.9%	108,000	499	0.5%
営業利益	721	1,126	404	56.1%	1,700	△574	△33.7%
営業外収益	236	591	355	—	—	—	—
営業外費用	271	310	39	—	—	—	—
経常利益	686	1,407	720	105.0%	1,600	△193	△12.0%
特別利益	3,596	1	△3,595	—	—	—	—
特別損失	386	4	△382	—	—	—	—
税金等調整前四半期純利益	3,897	1,404	△2,492	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,265	911	△1,354	△59.8%	1,000	△89	△8.9%

- ・当初予想：2015年5月8日に発表した2016年3月期第2四半期業績予想数値
- ・売上高：冷凍食品と鰹・鮪が伸張し、前期比60億円の増収
- ・営業利益：鰹・鮪の収支改善などにより、前期比4億円の増益
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益：代行返上益など特別利益がなくなったことから前期比13億円の減益



第2四半期決算概要



2. 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2014年 9月末	2015年 9月末	前期比		2014年 9月末	2015年 9月末	前期比
資産の部				負債の部			
流動資産	74,824	82,762	7,938	流動負債	53,971	55,196	1,225
受取手形及び売掛金	27,460	29,249	1,788	固定負債	19,412	25,485	6,073
たな卸資産	38,560	45,123	6,563	負債合計	73,383	80,682	7,299
その他	8,803	8,390	△413	純資産の部			
固定資産	20,897	21,445	548	株主資本	22,034	22,589	554
有形固定資産	10,782	13,544	2,761	その他の包括利益 累計額	△99	554	653
無形固定資産	440	512	72	非支配株主持分	403	382	△20
投資その他の資産	9,674	7,389	△2,285	純資産合計	22,338	23,526	1,187
資産合計	95,721	104,208	8,486	負債及び純資産合計	95,721	104,208	8,486



第2四半期決算概要



3. 連結キャッシュ・フロー計算書

	第2四半期連結累計期間		
	2015年3月期(前期) (単位:百万円)	2016年3月期(当期) (単位:百万円)	当期第2四半期 (連結累計期間)の主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	△4,772	△8,983	税金等調整前四半期純利益 +14億円 売上債権の増加 △47億円 たな卸資産の増加 △92億円 仕入債務の増加 +32億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,529	△1,776	固定資産の取得 △17億円
財務活動による キャッシュ・フロー	6,896	10,552	短期借入金の純増 +50億円 長期借入れによる収入 +65億円
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△16	△24	
現金及び現金同等物の 増減額	577	△232	
現金及び現金同等物の 期末残高	3,964	3,838	



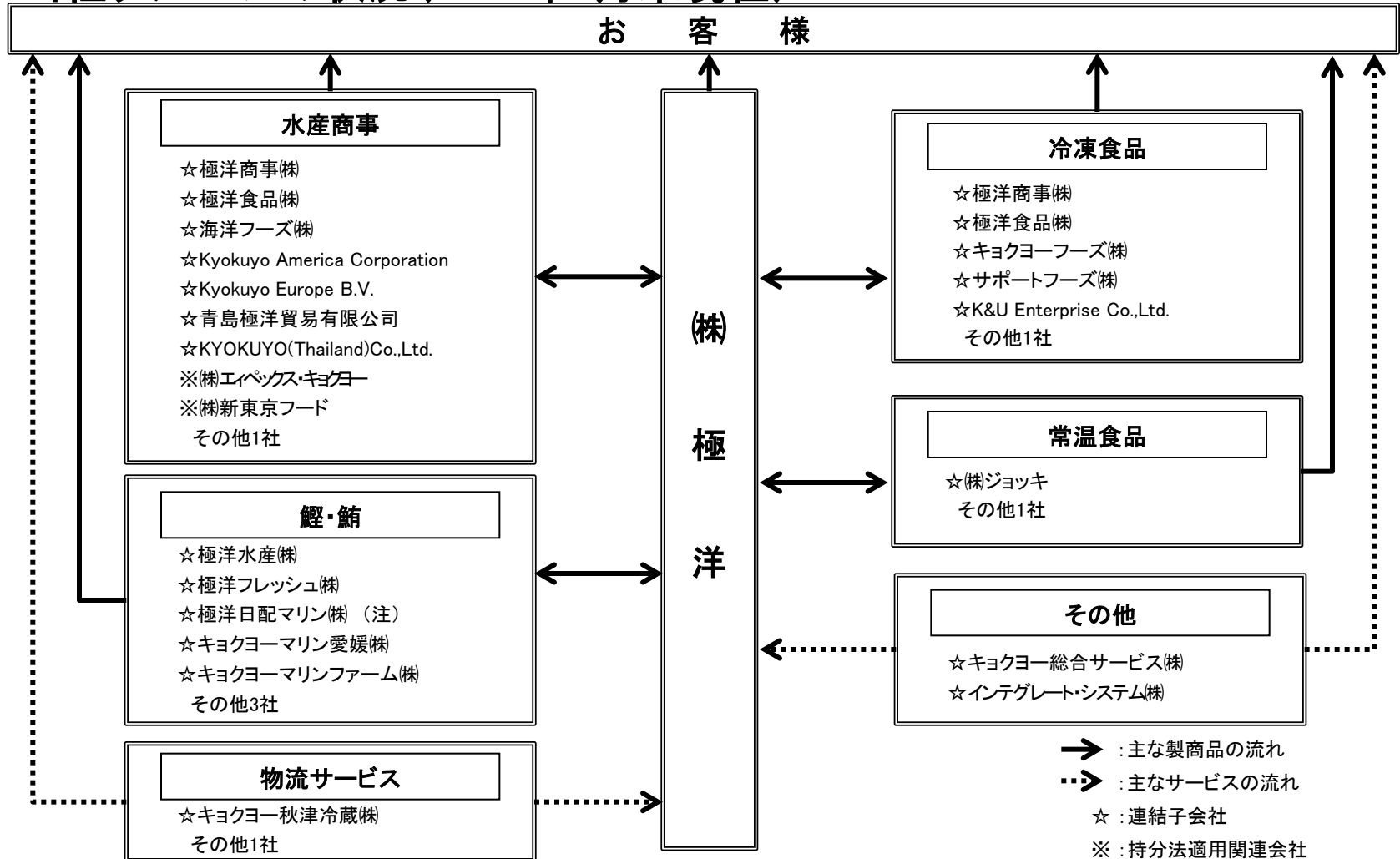
第2四半期決算概要



4. 連結経営指標

	2014年9月末	2015年9月末	前期比
純資産	22,338百万円	23,526百万円	+1,187百万円
自己資本比率	22.9%	22.2%	△0.7ポイント
商製品在庫金額	29,388百万円	34,125百万円	4,737百万円
在庫回転日数	52.3日	57.4日	+5.1日
有利子負債	500億円	585億円	+84億円
負債資本倍率(D/Eレシオ)	2.3倍	2.6倍	+0.3ポイント
自己資本利益率(ROE)	10.9%	4.0%	△6.9ポイント
総資産経常利益率(ROA)	0.8%	1.5%	+0.7ポイント
売上高営業利益率	0.7%	1.0%	+0.3ポイント
1株当たり純資産	208円85銭	220円35銭	+11円50銭
1株当たり四半期純利益	21円57銭	8円67銭	△12円90銭

5. 当社グループの状況(2015年9月末現在)



(注)極洋日記マリン(株)は平成27年10月1日付で極洋フィードワンマリン(株)に商号を変更しております



第2四半期決算概要

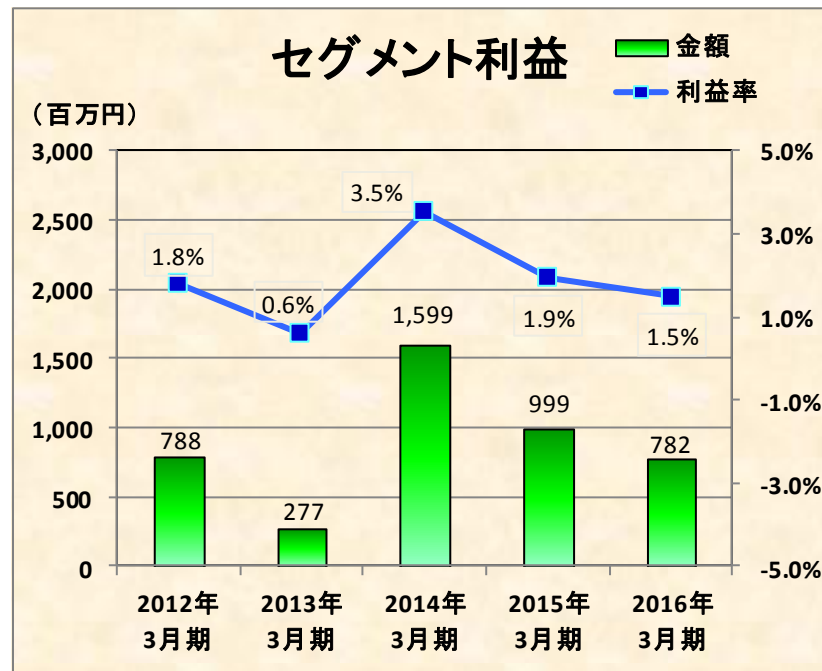
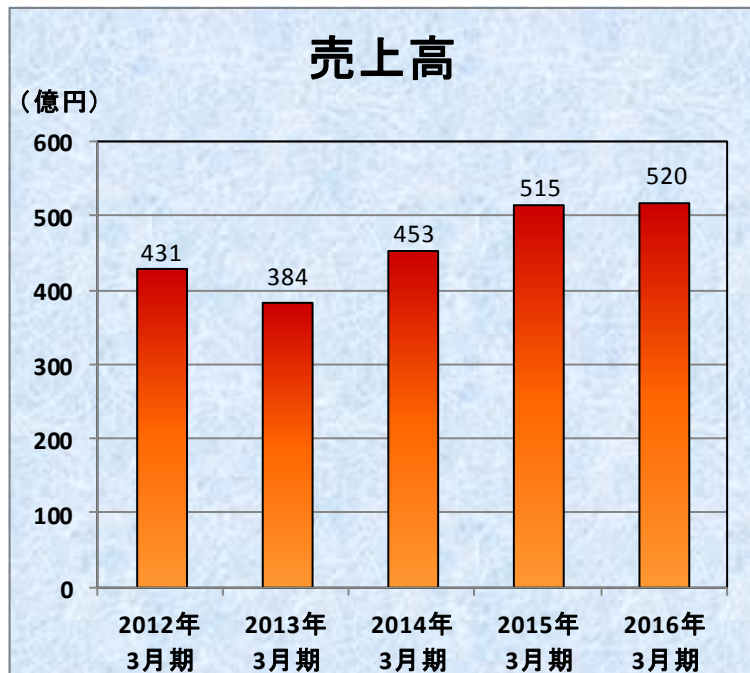


6. 事業セグメント別 売上高及びセグメント利益<連結>

(単位:百万円)

	売上高			セグメント利益		
	第2四半期連結累計期間		前期比	第2四半期連結累計期間		前期比
	2015年3月期(前期)	2016年3月期(当期)		2015年3月期(前期)	2016年3月期(当期)	
水産商事	51,507	52,050	542	999	782	△216
冷凍食品	28,422	32,514	4,091	242	45	△197
常温食品	9,009	9,207	198	144	207	63
物流サービス	1,604	1,546	△58	71	148	77
鯉・鮪	11,874	12,961	1,087	△289	234	524
その他	58	219	161	△446	△293	153
合計	102,476	108,499	6,023	721	1,126	404

(1) 水産商事事業<連結>…水産物の買付及び販売



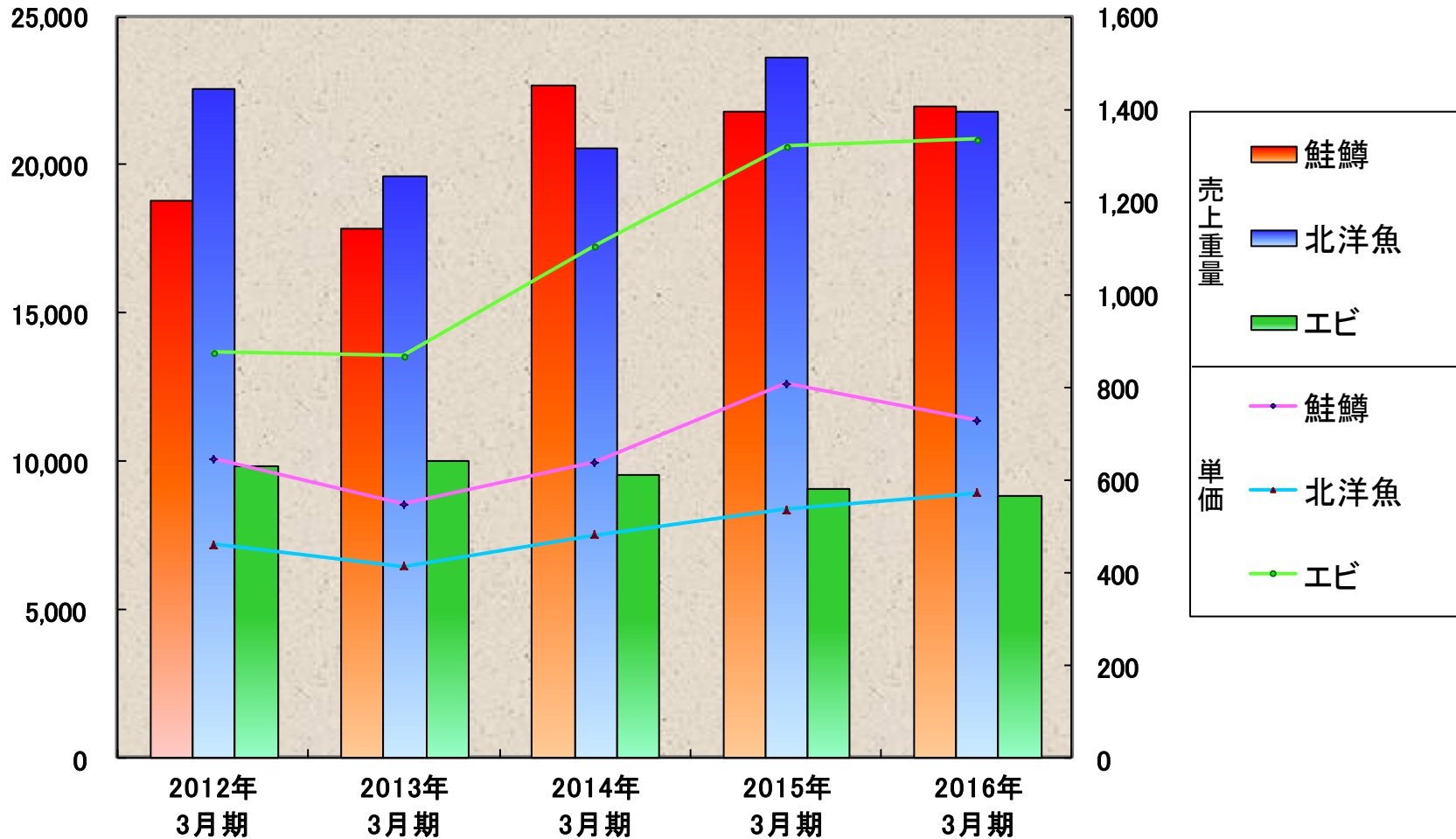
【当期の状況】

- 増収減益
 - 凍魚加工品や定塩サケ製品、伸ばしエビなど付加価値製品の販売に注力
 - 円安による厳しい買付環境
 - 加工コスト上昇による利益率の低下

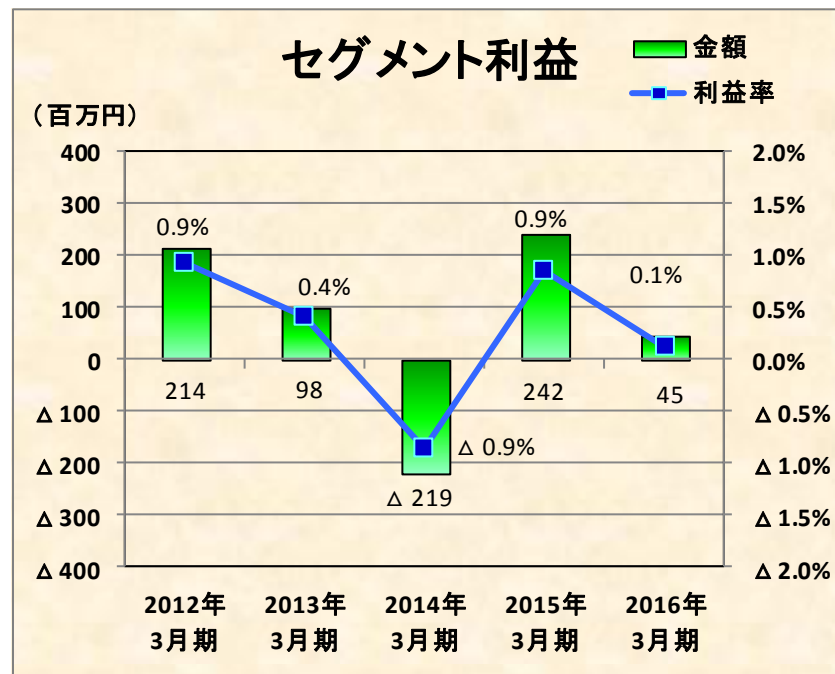
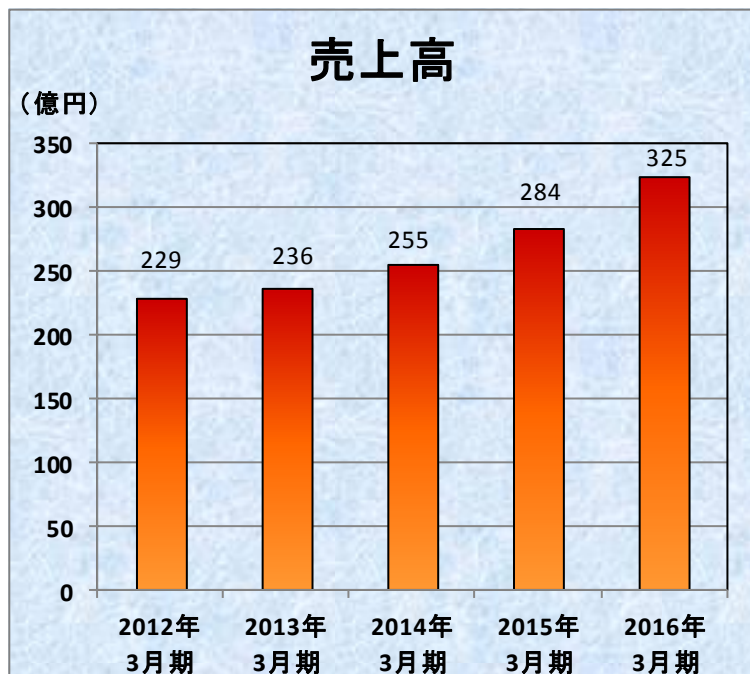
水産商事事業〈個別〉…魚種別売上重量・単価推移

(単位:トン)

(単位:円/kg)



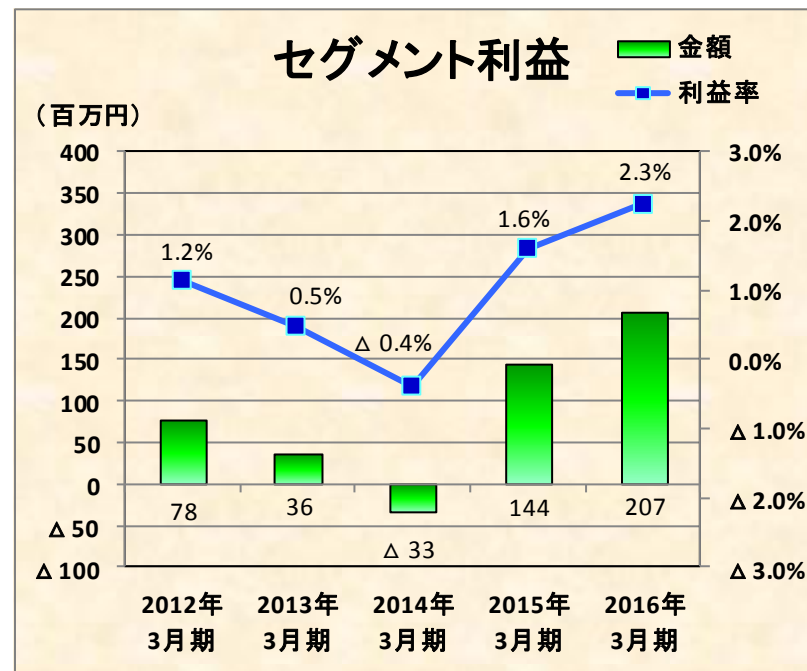
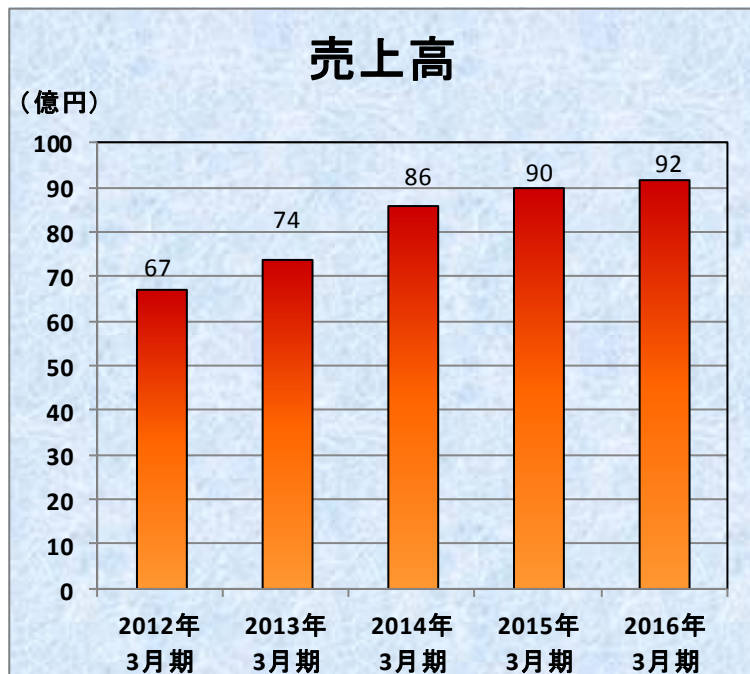
(2) 冷凍食品事業<連結>…冷凍食品の加工及び販売



【当期の状況】

- 増収減益
 - 「だんどり上手」シリーズなどの加熱用商品を医療食や事業所給食へ拡販
 - 寿司生食用商材を回転寿司チェーンへ順調に販売
 - エビフリッターや白身フライ、カニ風味かまぼこを量販店向けに拡販
 - 家庭用冷凍食品の首都圏を中心に有力量販店などへ販売店舗数を拡大中
 - 原料価格の高止まりによる生産部門の不振

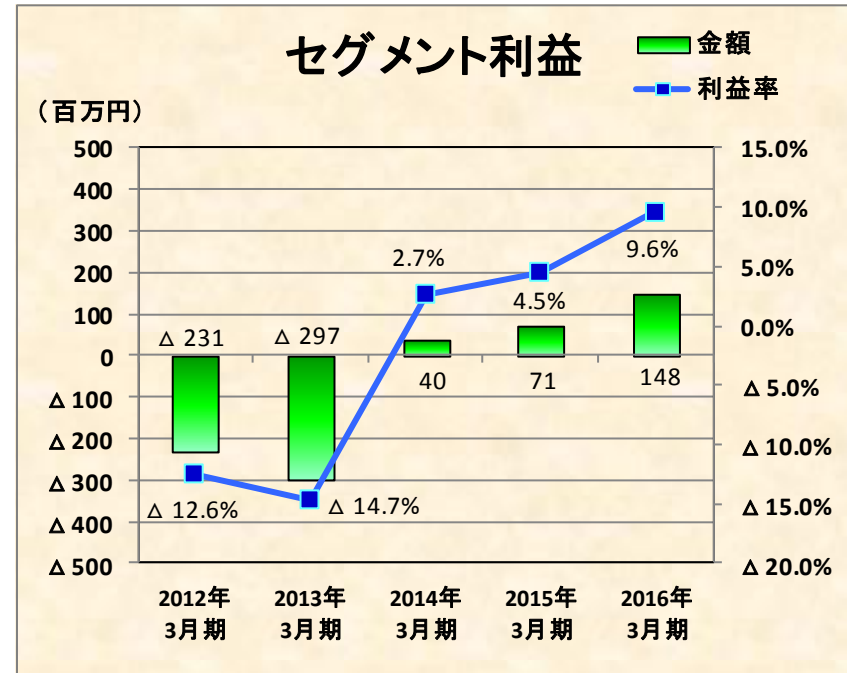
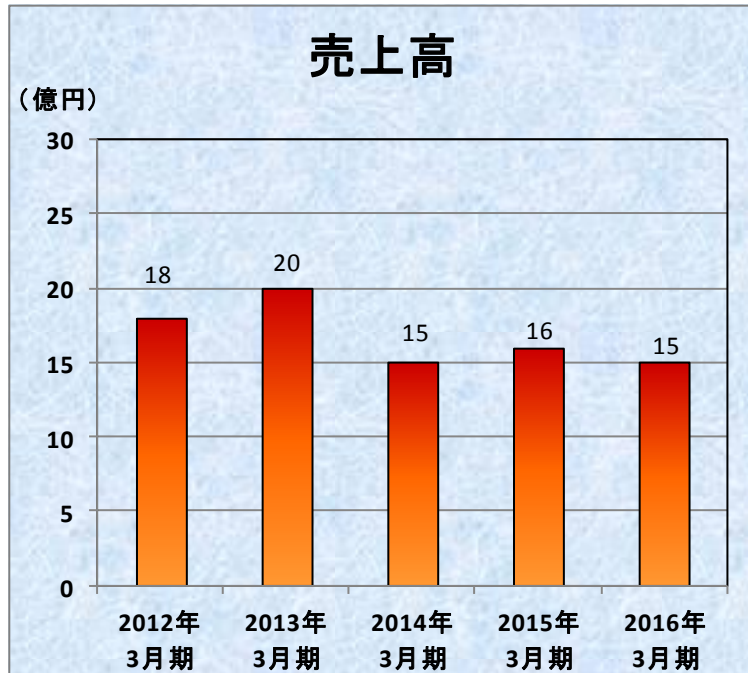
(3) 常温食品事業<連結>…缶詰・珍味製品他の加工及び販売



【当期の状況】

- 増収増益
 - 海外まき網船「わかば丸」の良質な原料によるツナ缶などを拡販
 - 価格改定や商品・販売先の集約などにより利益率が改善
 - 珍味製品の順調な拡大

(4) 物流サービス事業<連結>…冷蔵倉庫事業・冷蔵運搬船事業



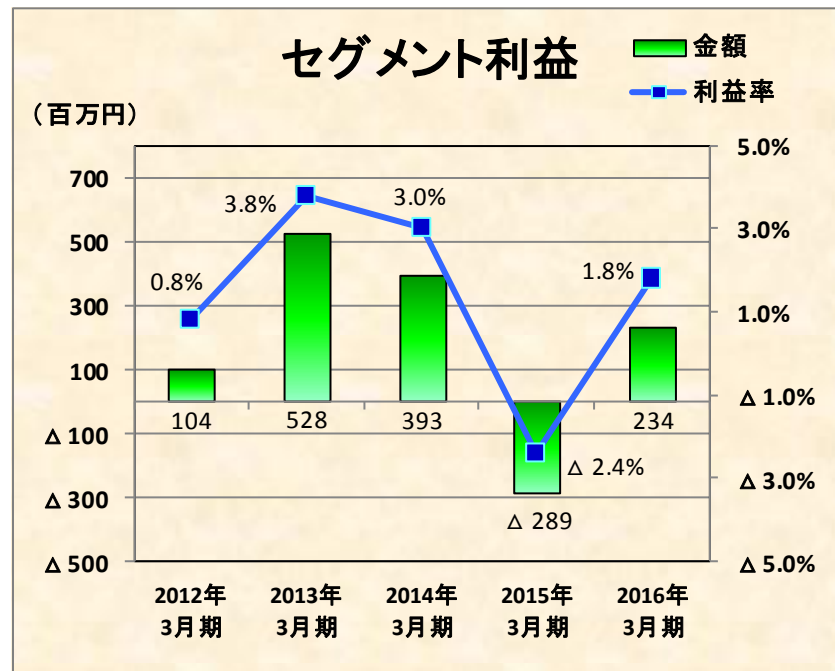
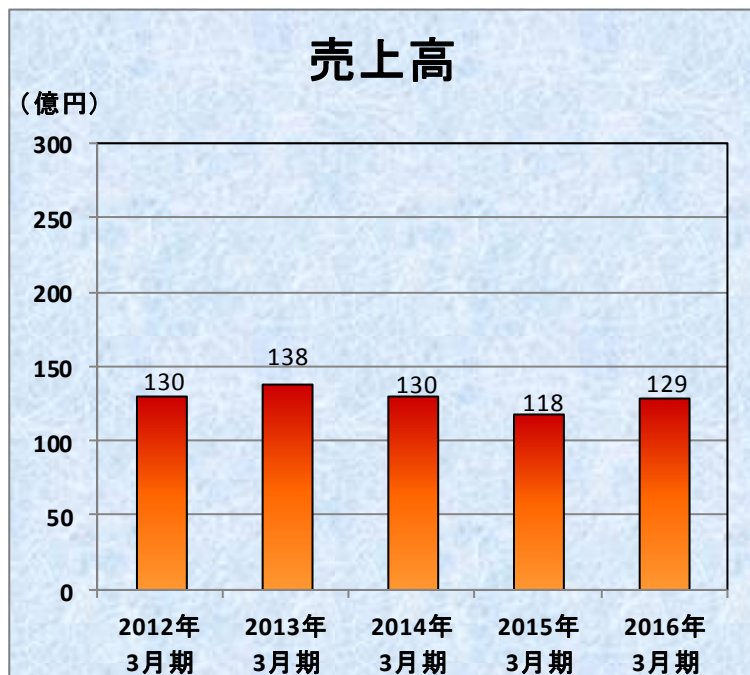
【当期の状況】

□減収増益

《冷蔵倉庫事業》 ➤ 昨年開設した城南島事業所が軌道に乗り貢献

《冷蔵運搬船事業》 ➤ 運航する3隻全てをバナナ輸送の年間契約へ効率的に配船

(5) 鰹・鮪事業〈連結〉…海外まき網事業・養殖事業・鰹鮪加工販売事業



【当期の状況】 □ 増収増益

《海外まき網事業》 ▶ 経費増も魚価が回復

	前期	当期	前期比
水揚げ重量(千トン)	17	17	±0
水揚げ金額(億円)	27	30	+3
単価(円/kg)	159	180	+21

《養殖事業》

- ▶ 種苗の仕入ルート新規開拓
- ▶ 養殖技術の蓄積に注力

《加工販売事業》

- ▶ 本鮪やミナミ鮪を中心に寿司種の販路拡大



第2四半期決算概要



7. 個別損益計算書

(単位:百万円)

	実績		前期比		当初予想	当初予想比	
	第2四半期累計期間		(増減金額)	(増減比率)	第2四半期 累計期間	(増減金額) (増減比率)	
	2015年3月期 (前期)	2016年3月期 (当期)			2015年3月期 (当期)		
売上高	99,476	103,702	4,226	4.2%	103,000	702	0.7%
営業利益	890	988	98	11.0%	1,100	△111	△10.1%
経常利益	950	1,321	370	39.0%	1,100	221	20.1%
四半期純利益	2,504	916	△1,588	△63.4%	700	216	30.9%

- ・当初予想：2015年5月8日に発表した2016年3月期第2四半期業績予想数値
- ・売上高：冷凍食品と鰹・鮪が伸長し、前期比42億円の増収
- ・営業利益：水産商事を除く全ての事業が増益となり、前期比1億円の増益
- ・四半期純利益：代行返上益など特別利益がなくなったことから前期比15億円の減益



2016年3月期 業績予想及び下半期施策



2016年3月期 下半期業績予想



1. 事業を取り巻く環境

経済・社会情勢

- 企業収益や雇用環境に改善の動き
- 日本経済は緩やかな回復基調を維持
- 中国経済の減速観測に端を発した世界的な株式市場の混乱
- 海外景気の下振れリスクが増大

水産・食品業界

- 食の安心・安全に対する関心の高まり
- 少子高齢化による国内マーケットの変化
- 円安の定着により輸入水産物の買付コストが増加



2016年3月期 下半期業績予想



2. 連結業績予想

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	(営業利益率)	経常利益	(経常利益率)	親会社株主に 帰属する 当期(四半期) 純利益	1株当たり 当期(四半期) 純利益(円)
上半期	当期実績	108,499	1,126	1.0%	1,407	1.3%	911	8.67
	前期実績	102,476	721	0.7%	686	0.7%	2,265	21.57
	(前年同期比)	6,023	404	0.3%	720	0.6%	△1,354	△12.90
	当初予想	108,000	1,700	1.6%	1,600	1.5%	1,000	9.52
	(当初予想比)	499	△574	△0.6%	△193	△0.2%	△89	△0.85
下半期	当期予想	120,501	1,474	1.2%	1,593	1.3%	1,289	12.27
	前期末実績	115,874	1,738	1.5%	1,421	1.2%	168	1.60
	(前期末比)	4,626	△264	△0.3%	171	0.1%	1,120	10.67
	当初予想	121,000	1,900	1.6%	1,900	1.6%	1,200	11.43
	(当初予想比)	△499	△426	△0.4%	△307	△0.3%	89	0.84
通期	当期予想	229,000	2,600	1.1%	3,000	1.3%	2,200	20.95
	前期末実績	218,350	2,460	1.1%	2,107	1.0%	2,433	23.17
	(前期末比)	10,649	139	0.0%	892	0.3%	△233	△2.23
	当初予想	229,000	3,600	1.6%	3,500	1.5%	2,200	20.95
	(当初予想比)	—	△1,000	△0.5%	△500	△0.2%	—	—



2016年3月期 下半期業績予想



3. 個別業績予想

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	(営業利益率)	経常利益	(経常利益率)	親会社株主に 帰属する 当期(四半期) 純利益	1株当たり 当期(四半期) 純利益(円)
上半期	当期実績	103,702	988	1.0%	1,321	1.3%	916	8.72
	前期実績	99,476	890	0.9%	950	1.0%	2,504	23.85
	(前年同期比)	4,226	98	0.1%	370	0.3%	△1,588	△15.12
	当初予想	103,000	1,100	1.1%	1,100	1.1%	700	6.66
	(当初予想比)	702	△112	△0.1%	221	0.2%	216	2.06
下半期	当期予想	115,298	1,512	1.3%	1,279	1.1%	784	7.46
	前期末実績	112,610	1,004	0.9%	1,092	1.0%	△365	△3.48
	(前期末比)	2,687	507	0.4%	186	0.1%	1,149	10.94
	当初予想	116,000	1,700	1.5%	1,500	1.3%	1,000	9.53
	(当初予想比)	△702	△188	△0.2%	△221	△0.2%	△216	△2.06
通期	当期予想	219,000	2,500	1.1%	2,600	1.9%	1,700	16.19
	前期末実績	212,086	1,894	0.9%	2,042	1.0%	2,139	20.37
	(前期末比)	6,913	605	0.2%	557	0.2%	△439	△4.19
	当初予想	219,000	2,800	1.3%	2,600	1.2%	1,700	16.19
	(当初予想比)	—	△300	△0.2%	—	—	—	—



事業セグメント別の業績目標と施策



4. 事業セグメント別業績目標〈連結〉

(単位:百万円)

	売上高							セグメント利益						
	上半期		下半期		通 期			上半期		下半期		通 期		
	当期 実績	前期 実績	修正 予想	前期 実績	修正 予想	前期 実績	当初 予想	当期 実績	前期 実績	修正 予想	前期 実績	修正 予想	前期 実績	当初 予想
水産商事	52,050	51,507	56,949	60,288	109,000	111,795	109,000	782	999	1,188	888	1,970	1,888	2,180
冷凍食品	32,514	28,422	37,485	34,321	70,000	62,744	69,000	45	242	375	167	420	409	760
常温食品	9,207	9,009	9,792	8,468	19,000	17,478	19,000	207	144	203	162	410	306	450
物流 サービス	1,546	1,604	1,953	1,544	3,500	3,148	3,000	148	71	112	76	260	148	200
鯉・鮪	12,961	11,874	14,038	10,981	27,000	22,855	29,000	234	△289	46	277	280	△12	700
その他	219	58	280	269	500	327		△293	△446	△447	166	△740	△280	△690
合 計	108,499	102,476	120,500	115,874	229,000	218,350	229,000	1,126	721	1,474	1,738	2,600	2,460	3,600



事業セグメント別の業績目標と施策



5. 事業セグメント別下半期施策

【水産商事セグメント】

- 質の高い水産物の安定供給を維持
- 付加価値商品の導入拡販と販売ルートの開拓
- 年末商戦に向けた精度の高い適時適量買付
- 創意工夫による在庫管理を徹底し利益率を向上

【冷凍食品セグメント】

- 生食・寿司種商材の有カユーザーとの取り組み強化
- 「だんどり上手」シリーズを中心とした切身加工品の売上拡大
- 直系工場の稼働率向上と新工場の円滑な立ち上げ
- 家庭用冷凍食品の導入店舗数伸長とリピート率向上による拡販



事業セグメント別の業績目標と施策



【常温食品セグメント】

- 価格の適正化推進と高付加価値商品の開発
- 業務用販売ルートの再構築
- 国内外の協力工場と連携し生産管理体制を強化

【鰹・鮪セグメント】

- オーストラリア産ミナミ鮪や地中海産本鮪の取り扱い拡大
- 海外まき網事業の効率的操業と漁獲物の有効活用
- 国内外加工拠点の整備拡充と付加価値商品の生産
- 本鮪養殖事業の規模拡大と完全養殖事業の推進

【物流サービスセグメント】

- 冷蔵倉庫のグループ内運送事業集約による業務効率とサービスレベル向上及びスケールメリットによるコスト削減
- 冷蔵運搬船の長期契約獲得と安定航路の維持



2016年3月期 設備投資計画



設備投資計画

	概要	通期合計
極 洋	新工場建設関連	35億円
	生産工場関連	3億円
	研究所関連	1億円
	養殖事業海上	1億円
	IT関連その他	5億円
	計	45億円
関係会社	生産工場関連	12億円
	まき網事業関連	5億円
	養殖事業海上	2億円
	IT関連その他	1億円
	計	20億円
	合計	65億円



本資料は、2015年9月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的として作成しており、必ずしも投資をお勧めするものではありません。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

したがって、実際の業績は、様々な要因により、これらの予想と異なることがありますのでご承知おきください。

当資料に対する問い合わせ窓口

株式会社 極 洋 企画部 電話03-5545-0703

本資料は株式会社極洋が作成したものであり、内容に関する一切の権利は当社に帰属します。複写及び無断転載はご遠慮ください。